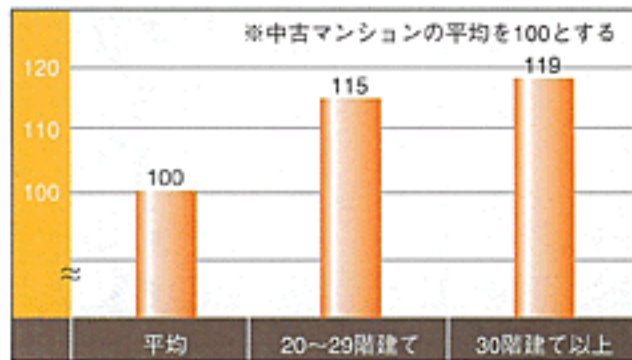


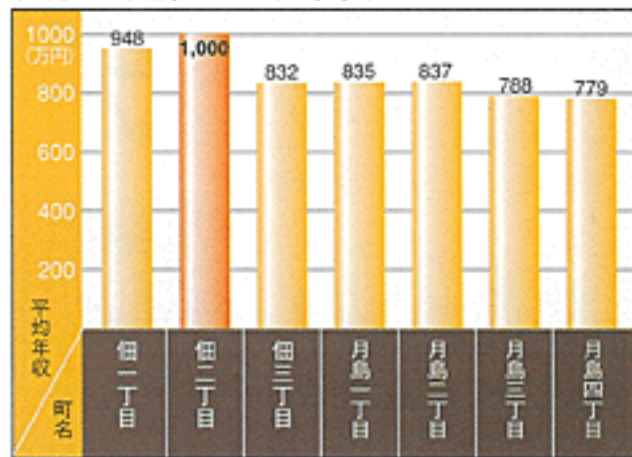
データは語る 買うべきマンション

第12回

中古マンション市場におけるタワーマンションの相場



物件の周辺住民の平均年収



データ提供/アトラクターズ・ラボ (主宰・沖有人)
マンション購入者向けの情報を提供するサイトを運営。あくまでもカスタマーサイドに立った情報分析、データ提供で利用者から高い支持を得ている。(http://www.a-lab.co.jp)

人気のタワーマンションを
将来性の高さで選ぶ

アトラクターズ・ラボの沖有人氏が、現在分譲中の物件を独自のデータで評価。今回は、タワーマンションを将来性の高さで選んだ。

「タワーマンションは人気が高く、相場も高めです。過去6年の新築データを見ると、階段が20階から29階のマンションは、20階以上のマンション

より平均15%割高。30階以上なら19%も割高に。割高でも売れているのですから資産価値が高いわけです。現在分譲中のタワーマンションの中で、さらに資産価値が高くなりそうな物件を探すと、ザ・クレストタワーがあります。

建設地周辺は住民の平均年収が高く、持ち家世帯の平均年収は1000万円。それゆえ、マンションです」

今回のターゲット



ザ・クレストタワー

(有楽町線・都営大江戸線月島駅)

月島駅から歩いて3分に建設される地上32階建てのタワーマンションだ。総戸数387戸と規模が大きく、スタジオタイプ~4LDKと住戸のバリエーションも豊富。天井が高く、廊下も幅広など基本的な居住性能が高い点も評価される。価格は、約64~67㎡の2LDKで、4700万円台。